

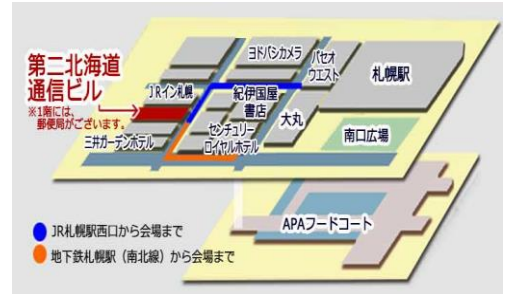
「自治体職員等のための『適応』セミナー～気候変動の影響に備える～」開催案内

気候変動の影響はすでに、私たちの暮らしのさまざまなところに現れています。その影響に対処するためには、温室効果ガスを削減する「緩和」だけでなく、影響被害を回避・軽減する「適応」が重要であり、全国各地の自治体で気候変動適応計画の策定が進められています。

本セミナーでは、気候変動の影響と適応に関する基礎知識や、北海道で起こっている・将来起こると考えられる気候変動の影響を学び、すでに適応計画策定を進めている自治体の取り組みを紹介します。

■実施概要

日時 : 2019年12月19日(木) 13:30~16:45 (13:00開場)
募集対象 : 北海道内の行政関係者、農協・経済団体等地域における気候変動適応策に関係する方
定員 : 50名(無料)
主催 : 環境省北海道地方環境事務所、北海道、札幌市、公益財団法人北海道環境財団
会場 : 札幌駅前ビジネススペース カンファレンスルーム2J
 (中央区北5条西6丁目1-23 第二北海道通信ビル2階)
 ※1階に郵便局があります。
アクセス : JR札幌駅西口から徒歩約5分



■プログラム

時間	発表テーマ/発表者
13:00	開場
13:30	開会挨拶
13:35	「気候変動適応法と気候変動適応計画について」/環境省北海道地方環境事務所
13:45	「北海道気候変動適応計画(仮称)(素案)について」/北海道環境生活部
13:55	「北海道における気象変化について」/気象予報士 菅井 貴子氏
14:25	「変化に備えよー国立環境研究所の気候変動適応への取組ー」 /国立環境研究所 気候変動適応センター 副センター長 行木 美弥氏
15:15	休憩
15:25	「(仮称)札幌市気候変動対策推進計画について」札幌市/環境都市推進部
15:55	「広域連携による気候変動適応等への取組み」/郡山市環境政策課
16:25	質疑応答
16:45	閉会挨拶

※環境負荷削減の観点から、本セミナーはペーパーレスで行います。講演資料の配布は致しませんので、事前に環境省北海道地方環境事務所のHPからダウンロードして持参頂きますようお願いいたします。また、事前質問を受け付けます。資料掲載は12月12日頃を予定しています。(http://hokkaido.env.go.jp/index.html)

■講師略歴・プロフィール

菅井 貴子 : 気象予報士・防災士・地球温暖化防止コミュニケーター

明治大学理工学部数学科卒業、北海道大学教育学院にて「北海道の気候多様性に関する地域活性化」論文にて修士を取得。NHKキャスターを務め、現在は、北海道文化放送(UHB)の夕方情報番組「みんテレ」にて気象キャスターとして出演中。環境、防災、地域活性、プレゼンテーションをテーマに、講演、執筆活動も行う。



行木 美弥 : 国立環境研究所 気候変動適応センター 副センター長

環境学博士。環境省環境研究技術室長、大気生活環境室長、慶應義塾大学環境情報学部准教授等を経て2018年より現職。北海道で育ち、豊かな自然環境を守りたいという思いから環境庁(当時)に入り、一貫して環境に関する業務に従事。



■申し込み先

参加を希望される方は①ご所属(部署/役職)、②お氏名、③電話番号、④E-mailアドレス、複数名での参加の場合⑤参加者全員のご所属・氏名⑥今後、環境省北海道地方環境事務所主催のセミナー等の案内を希望される場合は、「案内を希望する」と記載し、タイトルに「12/19 適応セミナー参加申込」と記載の上、下記申込先までメールまたはFAXにて申し込み下さい。 2019年12月16日(月)17:00締め切り

申込先 : 日本エヌ・ユー・エス株式会社(担当: 櫻木(サクラギ)、野田)

TEL:050-3644-6400 FAX:03-5925-6745 MAIL: adaptation-hokkaido@janus.co.jp